

キワレ!
ガーマガ!!
新人漫画家
木崎 摘

あの人もちは賞出身だった!

ちばてつや賞
特集

山崎紗也夏さん

Q&A インタビュー

『はるか17』や『サイレーン』など映像化された
マンガも手掛けられ、25年以上第一線で活躍されて
いる山崎さんは、実は第28回ちはてつや賞受賞者!
ヤンマガ創刊40周年記念読み切り
『田中くんの主張』(YM39号掲載)では約20年ぶりに
ヤンマガにカムバックしていただきました。そんな
山崎さんに、ちはてつや賞受賞当時を振り返って
頂きつつ、読み切りを描くコツや、第一線で
活躍し続ける秘訣をインタビュー!

Q2. ちは賞 ヤング部門に 投稿したきっかけは?

最初は少女漫画誌に投稿していたのですが、
全然結果が出なくて…。そんな時、妹が
たまたま持っていたヤンマガで青年誌という
ジャンルを初めて知り、こっちのほうが自分
に向いてるのではと思って投稿しました。
当時ヤンマガ作品で読んでいたのは、安達哲
さんが描いていた『お天気お姉さん』です。
勢いやテンポの良さなど何もかも新鮮でした。
青年漫画って自由だなと思い、こっちのほうが
自分に向いてると思いました。妹がヤンマガ読
んでなかったらと思うとソッとなります。「妹よ
りありがとう」という気持ちです(笑)。

プロフィール

93年『ミス・キャスト』で第28回ちはてつや賞佳作受賞。同年9月ヤングマガジン増刊ダッシュにて『群青』でデビュー。代表作品に、『はるか17』(山崎さやか名義)、『サイレーン』など。ヤングマガジンでは『フローズン』、『NANASE』などを連載。

イラスト:YM39号掲載
『田中くんの主張』

特別読み切り

『田中くんの主張』は
ヤンマガWebから読みます!



Q1. 読み切りを描く際に 大切にしていることは?

小さな情報をヒントにすることです。例えば、服装や立ち方、口癖は人それぞれ特徴があるので、キャラクター作りの際には参考になります。また、友人や知人からは、家族構成や生い立ちを積極的に聞くようにしているのですが、そうした情報も「お兄さんがいる女子は男の人に幻想を持たないな」とか「コミュニケーションの上手い人は転校が多かったんだ」というヒントとして役立ちます。漫画を描くときは、物語よりもキャラクターから考えた方が良いと思います。読み切りなら「こんな状況が描きたい」でも描けると思いますが「こんな人間が描きたい!」という欲求がありますのでそのキャラを作つてから設定を考えることが多いです。それに私は話を考へるのが苦手なのでキャラで補っています…。

第28回ちばてつや賞 佳作受賞作「ミス・キャスト」



ひよんなことから生徒会に選ばれてしまふ女子高生2人の掛け合いが秀逸な一作。髪の毛やスカートの細かい部分も全て筆で描かれている。

初めてフルデジタルで描かれた作品。腱鞘炎を患ったことが、デジタル作画挑戦へのきっかけとなり、5年かけて技術を習得されたとのこと。かつての漫画制作現場でのぶつかり合いを、爽やかかつユーモアたっぷりに描いた一作。

Q6. デビューを目指す新人漫画家さんに応援コメントやアドバイス

近道や一足飛びはないのでじタバタして良いと思います。私自身、当時振り返ると、自信は日々あったりなかったりだったのですが、デビュー、初連載、初単行本、など自信を持っていい節目では自信を持って描いてきました。「はるか17」という漫画を19巻まで描いた時はさすがに胸張って「自分は漫画家です」と言ってもいいかなと思いました。

皆様の応募お待ちしております!

応募要項

大賞 100万円 + 受賞作掲載
本誌または増刊号

優秀新人賞 50万円

準優秀新人賞 30万円

準大賞 70万円

佳作 20万円

期待賞 10万円

※「優秀新人賞」以上は、「ヤンマガ奨学金」(10万円×6ヶ月)を贈呈!!

あて先

〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21 講談社 ヤングマガジン編集部

「ちばてつや賞」係

持ち込み 編集部は地下鉄有楽町線護国寺駅6番出口徒歩1分
大歓迎!! 必ず電話で予約をしてください、平日の午後にご来社ください。

TEL 03-5395-3461

ヤングマガジン編集部では、感染対策をしたうえで編集部への持ち込みをお待ちしております。

WEBからも
投稿できる!

ヤンマガHPの
新人賞ページを
チェック!

Q3. 当時のちば賞受賞作品「ミス・キャスト」を振り返って

受賞の連絡は、当時携帯電話がなかったので家に電話がきて母親が受けたのですが「東京の出版社の人が何やら連絡してきた」というのは地元では非日常な出来事だったので嬉しい気持ちになりました。デビューに向けて1歩進んだんだと思いました。

実はこの作品、ペンと筆を持ち替えるのが面倒で人物も背景も筆で描いてるんです…。

受賞後に上京して、古谷実さんのところでアシスタントとして働いていた時に、定規を使わずにフリーハンドで背景を描いたり、ベタがはみ出しても気にしないで作業してたら「そりゃないでしょ」と言われて…。その時に「ああ、手抜きはいけないんだな」とようやく反省しました。もともとがすごくめんどくさがりなんです(笑)。

特別読み切り 『田中くんの主張』



Q4. 新人時代に受賞を目指し取り組んでいたことは?

同級生をこっそりタイプ別に分けてキャラ作りに役立てたりしていました。絵柄としては、細野不二彦さんの描く女に憧れていました。あと「ヤッターマン」のドロンジョの造型は女の子のキャラを描くときにいつも根底にあるような気がします。映像もよく観ていて、最近だと韓国のBTSというグループのミュージックビデオが彼らの動きがきれいで参考というか感心しています。映画もよく観ますが参考になっているか自分でもわかりません(笑)。

Q5. 長年第一線で活躍するためすべきことは?

ネームを直してと言わされたら言い訳しないで直すことが大切だと思ってます。新人漫画家さんが担当編集者と電話打ち合わせしていると「いや、そこはですね」と説明してしまっているのをよく見かけます。そんな時「口で言ても伝わらないから漫画を描いてるのに」ともどかしくなります。こだわりも大事なんですね。ネーム作りはとにかくテンポを心がけています。一つのふきだしに入れるセリフもなるべく短くしたいです。以前はクライマックスで言いたいセリフを準備してから描き始めましたが多かったのですが、最近はその言いたいこともなくなってきた。なので次の段階に入ったかなと思うのですが、それが何か模索中です。あと〆切を設定してもらうことも大事です。私なんか〆切がないと何も進まないですから。

締め切り
2/28(日)
当日消印有効
結果発表
ヤングマガジン
5月発売号(予定)

全受賞作品が「コミックDAYS」に掲載!!

<https://comic-days.com/>